



桂林市中医医院から

こんにちは！ No.4

2007.5

桂林、春がなく夏がやって来ました！連日、30度を超えております。25度の夜は涼しく感じるほど。昨年10月までは自分で切っていた髪の毛も、半年放っておいたらボサボサ。ついに、現地美容室デビューしました。パーマをかけたら、髪の毛いたみました。。涙。という訳で、似顔絵もリニューアルしてみました♪

協力隊の家 ～バイの住み家～

今回は、我が家をご案内いたしましょう。

協力隊の住居は、基本的に配属先が用意することになっている。派遣当時、用意されていたのが病院まで徒歩1分の部屋。しかし、ここがひどいカビ屋敷で。3日に1度は壁やタンスを拭かなければ…すぐに緑色の部屋になってしまう。心にまでカビが生えそうだったので、引越しをお願いした。それで見つけてもらったのが今の部屋。最上階の6階で風通しもよい。暑くなった今の悩みは、、ゴキブリさん。



水まわりはコンパクト。これも、外食文化の流れなのでしょう。使い勝手はかなり悪いのだが、あるだけいい。写真右が浴室とトイレ。写真には写っていないが、上にタンクがあってお湯が出る。浴槽はない。床に見える白い部分、これがトイレ。

この型が一般的。我が家の場合、手洗いの水が便器に流れる。一応、『水洗トイレ』と言えるでしょう。少し安い部屋になると、キッチンにシンクがなく、この浴室（トイレ）で食材・食器を洗ったりする。排水の全てがトイレ。我が家の洗濯機の排水も、トイレトーパーホルダの下に見える管から出てきて、床を伝い便器に流れる。洗濯機が出たところでもう1つ。中国人の家電製品購入優先順位って分かります？ 1位テレビ、2位DVDプレーヤー、3位ステレオ、4位浄水器、5位冷蔵庫・エアコン・パソコン等。ちなみに洗濯機は最下位。1位～3位は自宅でカラオケを楽しむために重要なアイテムなのだ。



バイが1人で住むには大きすぎる部屋。リビング、書斎、寝室、キッチンと浴室。寝室の飾り棚の奥は洗濯物が干せるようになっている。広すぎて…掃除は大変だし、淋しくもある。こんな広い部屋、日本では住めないだろうな。家賃は聞くとところによると、月800元だとか。

隊員の全てがこのような部屋に住んでいるわけではない。我が家は特別の域だろう。医療関係隊員は、病院の寮や病室を改造して住んでいる場合が多い。学校（大学）隊員はほとんどが寮住まい。6階なのに1階と変わらないほどの騒音や、夏の滴るほどの湿気、冬の強風の隙間風などなど言えば尽きないが、この住環境に非常感謝！！



《 看護師のはなし 》

皆さんは、なぜ今の職に就きました？ ベイは、はじめから医療に関心があったワケではないのです。むしろ、医療なんて視野外だったというか。浪人していた時、祖父が亡くなりました。元来、じいちゃんっ子だったベイは…。これ以上お話しするといくらでも語れるので、ここまで。そのあとは、ありふれた話です。

そこで、看護師にも聞いてみた。中国の看護師はなりたくてなっているわけではないと聞いたけど、、、本当なの??? 結論から言うと、本当のようだ。

〈その1〉 ~40歳代後半~ どうして看護師になったの???

「私にだって分からない」…って。どういう意味？ それは…『学校（高等教育レベル）に入るためにまず試験を受ける。その試験の成績で、入学する学校が決まる。もしその学校に入学しなければ仕事は与えられない』ということらしい。彼女は『地質学』を学びたかったらしいが、成績の関係で『看護学』を学ぶ事になり、現在に至る。

〈その2〉 ~20歳代前半~ どうして看護師になったの???

「親が看護師になれって言ったから」…って。彼女は、違う道を選ぶことも出来たが、その場合、『学費など必要経費は全額自分で出す』という条件があったらしい。その時の彼女にはとうてい無理な話であり、親の言うとおりの看護の道に進んだらしい。本当は『数学』を学びたかったとか。

これが中国の現状。だからと言って、お世辞にもよいとは言えない患者さんに対する姿勢や態度を、納得してしまうのは何だか悲しい。看護師に限らず、就きたい職業に就いている人はほとんどいない。〈その1〉の学生時代は、ベイの親世代を考えると、日本も『就きたい職に就けない』という点では同じだったのかもしれない。しかし、20年経っている今もなおその状態が続いているのだ。以前知り合った学生が言っていた。「学生にとって勉強することは責任です。勉強して、（給料の）いいところに就職して、自分のやりたいことでない仕事でもお金のために働きます。」確か、この学生も入学試験の成績の関係で日本語を学んでいると言っていた。学びたいことを学べない、だからそれを活かした職に就こうという意欲も低い。結局お金なのか…?

それなのに、中国の学生は本当によく勉強する。（勉強ばかりしているから、人付き合いや社会を知らないということも時々耳にするが。）働き始めてからも、あれやこれやと試験があるようだ。看護師たちからも『試験』という言葉をしきりに聞く。たくさんの試験の甲斐あって、彼女たちは教科書に書いてある知識は持っている。しかし、それを現場に活かせない、活かそうとしない。ベイにはそう見えてしまうのだ。なぜプロ意識が生まれてこないのだろう？ 職に就くモチベーションの低さに加えて、給料の問題もあるようだ。上級の看護師になると国と病院から給料が支払われるが、下級の看護師の場合病院から支払われる給料のみ。保険など天引きされる分があるらしいが、月500元（1万円弱）らしい。看護師という『資格』を持っているからといって、彼女らにとって得られるものは少なすぎるのだ。だから、割のいい仕事が見つかるら簡単に辞めてしまう。

小学校隊員が言っていた。「子どもたちに将来の夢を聞いたら、ほとんどが同じことを書いた。私が例に挙げたものを書いていたのよね。」この国の人たちが、何か夢を持って働く日は、いつ来るのだろうか？

～中国語講座～

●医療・リハ用語

住院（じゅーゆえん）：入院する

出院（ちゅーゆえん）：退院する

門診（めんじえん）：外来診察

●日本語と意味が違う語

味（うえい）：におい

「あじ」という意味を表すには「味道（うえいだお）」を用いる。

編集後記

ベイの嘆き

今回は話題が少なくすみません。暑くて…なんて。任期も折り返しが近づいてきている今も、なかなか動かない重～い扉を押し続けているのだが。長い夏が始まる。汗を拭いて、休憩しながら押ししていこうと思うこの頃。

桂林も観光シーズン。お越しの際はぜひ我が『中医病院』へお立ち寄りください。メイン通り沿いです。（ベイ）